

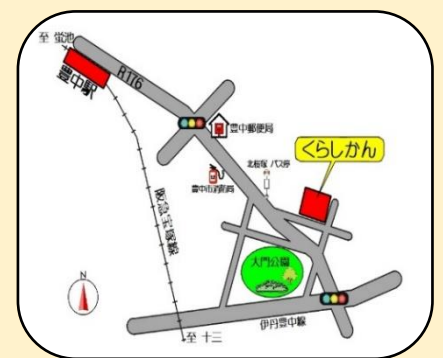
日程・テーマ・講義概要

回	日程	作家・テーマ	講義概要
1	6月13日 (月)	国木田独歩文学—明治の青春 『牛肉と馬鈴薯』『春の鳥』	明治30年代、日清戦争後日本人が自我に目覚め高揚していく青春期の代表作家の魅力を探る。
2	7月11日 (月)	夏目漱石における〈愛〉のかたち 『それから』	漱石文学の一貫したテーマ、自己と他者との関係を明確に示しているのが〈愛〉の形である。
3	8月29日 (月)	芥川龍之介の児童文学 『杜子春』『白』	児童文学雑誌『赤い鳥』に関わった芥川の児童文学は、〈真実〉なものへの仰望に貫かれている。
4	9月12日 (月)	太宰 治の〈祈り〉 『人間失格』	最晩年の太宰の作品は、次代への切なる祈りが託された太宰の人間性が読みのポイントになる。
5	10月10日 (月) 祝日	遠藤周作文学の原点を辿る 夙川・仁川周辺探訪	彼が洗礼を受けた夙川カトリック教会から、青春を過ごした仁川周辺を探訪する。
6	12月12日 (月)	司馬遼太郎文学の出発 『梟の城』	司馬が直木賞を取って本格的作家活動をスタートさせた記念碑的作品を探る。
7	1月23日 (月)	山本周五郎の歴史小説 『樅ノ木は残った』	「寛文事件」(伊達騒動)を通して人間の〈真〉を描き上げた周五郎を代表する歴史小説。
8	2月13日 (月)	吉本ばなな〈夢のキッチン〉 『キッチン』『満月(キッチンII)』	「私がこの世でいちばん好きな場所は台所だと思う。」この言葉は、家族の絆を描くばなな文学の主題を示している。
9	3月13日 (月)	三島由紀夫文学と〈海〉 『潮騒』	三島由紀夫の文学には〈海〉への仰望がしばしば描かれる。ロマンチズム文学の傑作を探る。
10	3月13日 (月)	宮本 輝における〈父〉 『道頓堀川』『優駿』	宮本輝の文学は〈父〉への問いかけと、自己の中の〈父〉との絆の確認に貫かれている。

2022年度公開文化講座『日本近代文藝の魅力を探る』第8弾 受講申込書

(ホームページからのお申込み：“⑤ 日本近代文芸の魅力を探る”を選んでお申し込みください)

ふりがな	<input type="checkbox"/> 男 ・ <input type="checkbox"/> 女 年齢： 才
名前	生年月日
住所 〒	
電話	携帯



会場アクセス

電話番号は緊急時、連絡用として使用しますので必ずお書きください

お問い合わせ：講座担当 前田：090-3273-3840 半崎：090-3050-7054

受付開始：2022年3月20日から 締め切り：2022年5月20日

(定員になり次第締め切ります)

認定NPO法人 大阪府北部コミュニティカレッジ 事務局 宛
〒560-0021 豊中市本町1丁目3-19 長尾第一ビル2階B号
(郵送、又は事務所へご持参願います) 【電話】 06-6151-4461
ホームページからもお申し込みいただけます。(URL: <https://oncc.jp>)



ONCC 記入欄

受付日	
受付番号	